

**7月になっても、カラカス日本人学校はますます元気です！ ますます楽しいです！
明日が待ち遠しい、そんなドキドキ感のある学校。それが私たちのめざすカラカス日本人学校！**



動物園の入口で



親子で動物に餌やり



公園ではボートに乗船

■ ■ 楽しい校外学習！ ■ ■

上の学年が修学旅行に行っていた7月8日(金), 小学部1年生児童は先生や家族と楽しい、楽しい校外学習に行きました。密度の濃い時間が流れました。

■ ■ カラカス太鼓は次の曲練習に入りました！ ■ ■

運動会で「アビラの響き」を演奏し、大きな拍手と充実感を味わった児童・教職員は、次の曲「Las Olas」の練習に入りました。オマールさんに続いて、マリサベルさんも加わり、人数も力も大きくなりました。次の目標は、10月の学習発表会です。みんなカラカス太鼓が大好きです。精進して、もっと上を目指します。



火・木の朝が練習日



新メンバー加入！

■ ■ 新しい試み クラブ活動は楽しい！ ■ ■

「世界一楽しい学校」への挑戦の試み、クラブ活動が定着してきました。1年間で全員が4つのクラブ活動を体験する第1弾、バドミントンクラブのまとめの試合を行いました。どの子もすごい上達です。シャトルを打つのが精一杯だった始めの頃と違い、サーブもラリーも出来るようになりました。凄い！



接戦に次ぐ接戦の連続



手に汗にぎる逆転劇

カラカス日本人学校をもっともっと知り、もっともっと好きになるために… (その1 1 3)

カラカス日本人学校はみんなの大切な、大切な宝物です！ NO. 8

下の1枚の写真は今から36年前、1980年当時のものです。この写真は、創立40周年記念誌DVDの学校沿革史にも収めてあります。また、本校ホームページの中にも載せてあります。しかし、当時の写真ですから、画像の粗い小さな写真なので、当時の人でなければ誰が誰なのか、全く判別できないものでしょう。

ところが、6月の或る日、学校に未知の方からメールが届きました。よく読むと、「下の写真(卒業式の写真です)の中央の校長先生の隣りに座っているのは私の父です。」という内容で、出来れば写真のデータを送っていただきたいという依頼でした。沿革史を見れば、先生の名前も判明しました。すぐに、メールで写真のデータを送りました。すると折り返しお礼のメールが学校に届きました。



「父は現在75歳で、元気にしております。実は姉がカラカス日本人学校に当時在籍しており、日本人学校のホームページで若き頃の父の写真を見つけ、弟である私に依頼してきたのです。先日、帰郷した折に、この写真をプリントアウトして父に渡したところ、大変喜んでおりました。本当に有り難うございました。」と書かれておりました。事情がさらに詳しく分かりましたので、創立40周年記念DVDの謹呈を申し出ましたところ、喜んで頂戴しますという返事が参りました。この夏に、お送りする予定で準備を進めています。創立40周年記念事業から1年が経とうとしている今でも、このように「カラカス日本人学校の絆(ぎずな)の物語」が続いているのだということを感じることができました。創立40周年記念事業が果たした意義や役割の大きさもひしひしと感じています。(写真：今はもうないカスティジャーナの校舎で卒業式の記念写真)